



「専門士業」って、どんなときに相談するの？ このような身近な相談にも、複数の専門家が力になります！

ケース①

会社から解雇の通告を受けた。納得行かない場合どうしたら良いか。
また、失業保険はもらえるのだろうか。

解雇についての交渉
や裁判について
の助言

労務関係・失業保険
の給付について
の助言

弁護士

社会保険労務士

ケース②

隣の家との境界が曖昧であったが、土地の
売却にあたり協議して境界を決めたいが、
何を基準にどう決めるのか？
隣家の土地を買い取る場合の評価は？

境界鑑定の方法

**土地家屋調査士
不動産鑑定士**

ケース③

父が急死し遺言もないため、現在の持家な
どを兄弟で相続手続きをしなければなら
ない。相続税の申告や登記など、何をいつま
でにすべきなのか？
兄弟で揉めた場合はどうしたらいいか？
土地の評価に争いがある場合は？

相続税申告手続

登記

税理士

司法書士

遺産分割協議の
流れの説明など

分割時の土地の
評価方法など

弁護士

不動産鑑定士

ケース④

新たに会社を設立して飲食店を経営した
い。まずはどのようなことから手を付け
れば良いか？

事業計画など

中小企業診断士

内容により

会社設立手続

税理士

司法書士

司法書士

飲食業許可
風俗営業許可など

社会保険労務士

…などなど

行政書士



それぞれどんなお仕事をしているの？

イメージのしやすい典型的な業務としては、弁護士は裁判のとき、税理士は税務申告のとき、司法書士は登記のとき、行政書士は許認可申請のとき、社会保険労務士は会社で従業員を雇用したとき、土地家屋調査士は土地建物の測量や登記をするとき、不動産鑑定士は不動産の評価をするとき、中小企業診断士は企業の事業計画を取引銀行に出すとき…などがあります。しかし、それぞれの士業は、さらに関連する色々な業務を行っており、また一部重なる部分もあります。

専門士業は、皆様の街を支える身近な専門家です。

「これは〇〇士に相談することなのだろうか…」と悩まず、まずはお気軽にご相談下さい！